

パリ DAC 通信(大洋州諸国を重要視～DAC はオーストラリアに援助審査を実施)

DAC はオーストラリアの援助審査を実施し、大洋州の脆弱な諸国を中心としている援助に関心が集まりました。

■援助の増額に取り組むオーストラリア

2007年のオーストラリアの援助額は約28億ドル、ODA の国民所得比は0.32%でした。オーストラリアはこの ODA の国民所得比を2016年までに0.5%まで引き上げることが公約としており、この大幅な増額のほとんどを国際機関を通じた援助を増加させることにより達成することとしています。現在、オーストラリアの国際機関を通じた援助の割合は14%と DAC メンバーの平均よりも低くなっています。

■大洋州諸国を重要視する地域プレーヤー

オーストラリアのバイの援助の76%はアジア大洋州諸国を対象としており、またこれらの国の多くが「脆弱な国家」です。オーストラリアは今後の援助の増額に伴いアフリカへの援助も増額を予定していますが、アフリカでは途上国への負担軽減や援助の断片化の阻止のために「委託された援助」の形態をとり独自の援助はほとんど行われず、DAC メンバーからは、大洋州を重要視したオーストラリアの援助配分について肯定的な意見が多く出され、オーストラリアもこれを喜んで受け止めました。

■戦略的な体制強化及び急増する AusAID の職員数

オーストラリアは、実施機関である AusAID からは独立して援助の質とインパクトをモニタリングする開発効果局を2006年に政府内に設置した他、政府開発運営委員会において援助効果向上や評価の年次報告書を作成しています。また、AusAID の職員数はここ4年間で倍増しており、職員の能力向上に取り組んでいます。

■大洋州諸国に特有の人道援助

島嶼国が多い大洋州では、気候変動による海面上昇が国家的な危機をもたらす可能性があり、これへの対応を準備する必要があります。オーストラリアは、AusAID における「災害削減プログラム」においてもこの視点を強化しつつあり、大洋州島嶼国とともに海面上昇のモニタリングを実施しています。また、その際には特に途上国の能力開発が重要と考えている旨オーストラリア側から説明がありました。

なお、オーストラリアの援助審査には、2010年に DAC 加盟を目指す韓国がオブザーバーとして参加し、オーストラリアの紛争後の開発における全政府型アプローチに感銘を受けた旨の報告がありました。